U.S. Customs and Border Protection

電子渡航認証システム

アメリカのどこに旅行する場合でも、
まずは ESTA で申請を

ファクトシート

ビザ免除プログラム（VWP）を利用して渡米するすべての渡航者は、米国へ渡航する前に電子渡航認証システム（ESTA）で渡航認証を受ける必要があります。VWP対象国の国民であれば、ESTAの公式ウェブサイト（*https://esta.cbp.dhs.gov*）よりオンラインで申請することができます。VWPにより、VWP参加国の渡航者は、90日以内の観光・商用目的で渡航する場合に限り、ビザなしで米国に旅行することができます。ESTAはVWPの安全性強化を目的としたシステムであり、ESTAの導入に伴い、米国政府はVWP参加国の枠を広げています。

ESTAに関する基本情報

電子渡航認証システム（ESTA）とは？

ESTAとは、VWPを利用して米国へやって来る渡航者が適格性を満たしているか事前に審査するためのオンラインシステムです。

VWPで渡航する人がESTAで渡航認証を受ける必要があるのはなぜですか？

米国で制定された法律に基づき、VWPの安全性強化のため電子渡航認証システムをはじめとした安全保障措置を導入することが国土安全保障省（DHS）に求められました。DHSは、渡航者がVWPで渡米する適格性を満たしているか、また、その渡航が法の執行あるいは安全保障のいずれも脅かす恐れがないかをESTAを通じて事前に審査し、安全保障を強化しています。

ESTAの申請が必要なのはどのような人ですか？

VWP対象国の国民がVWPを利用し、短期（90日以内）の商用・観光を目的として飛行機または船舶で渡米しようとする場合、ESTAによる認証が必要です。前回の渡米から十分な日数が空いていないと、渡航者が米国在住でないことを証明することができません。たとえ米国を経由して第三国へ渡航する場合でも、ESTAによる認証が必要です。

ESTAの申請方法

米国への渡航認証はどうやって申請するのですか？

ESTAは公式ウェブサイト（*https://esta.cbp.dhs.gov*）から申請できます。
すべての質問に答えたら、渡航認証の申請フォームを送信してください。

複数の渡航者の申請を一度に行うことはできますか？

はい、一度に最大50名分の申請（グループ申請）を行うことが可能です。グループ申請を行うには、まず代表者（連絡担当者）の申請を送信し、申請料を支払う前に**「新規申請の追加」**または**「未払い申請の追加」**のいずれかを選択します。その後、グループ内の渡航者ごとに情報を入力し、すべての質問に答えます。グループ全体の申請を送信すると、グループのID番号が発行され、ご登録いただいたメールアドレスに送信されます。グループ申請情報へのアクセス、申請状況の確認、領収書の表示、料金の支払いには、グループID番号が必要です。

未成年の子どもでもESTAの申請は必要ですか？

はい。ビザ免除国の国民であれば、同行者の有無を問わず、お子様であっても渡航前に渡航認証を取得する必要があります。ESTAは年齢にかかわらずすべての渡航者に必要です。

渡航認証の申請フォームではどのような情報が必要ですか？

申請者の氏名、生年月日、パスポートの情報を含む情報を申請者ごとに英語で入力する必要があります。また、伝染病、特定の犯罪による逮捕歴や犯罪歴、ビザの取消しや強制送還歴の有無など、VWPの適格性に関する質問にもお答えください。グループ申請の場合、申請された情報が真実かつ正確であることについて渡航者一人ひとりが責任を負います。申請を完了するには、申請料の支払いに利用するクレジットカードの情報も必要です。

申請を本人以外の人が代理で行うことはできますか？

はい。ご友人、ご家族、旅行会社の担当者など本人以外の第三者が申請を代行しても構いません。また、本人以外の人が個人またはグループの代理で申請料を支払うこともできます。ただし、代理人の申請した情報が真実かつ正確であることについては、渡航者本人が責任を負います。

渡航認証は出発のどのくらい前までに申請する必要がありますか？

米国に渡航する前であればいつでも申請できますが、旅行の予定が決まり次第、できるだけ早く申請することをお勧めします。遅くとも出発の72時間前までに申請してください。DHSは、急に渡航が決まるような状況があることも承知していますので、渡航直前または緊急時の申請にも対応します。なお、VWPによる渡航者は、具体的な渡米の予定が決まっていなくてもESTAを申請することができます。

申請が処理されるまでにどのくらいの時間がかかりますか？

通常、個人およびグループ申請の審査結果は、ESTAのウェブサイトで申請を送信すると即時に判定されます。審査結果をお知らせする確認メールはお送りしませんので、ウェブサイトで申請状況を確認してください。

ウェブサイトにはどのような審査結果が表示されますか？

渡航認証許可：渡航認証が承認されました。
渡航認証拒否：渡米するには、米国大使館または領事館で非移民ビザを申請する必要があります。
渡航認証保留：72時間以内にもう一度ESTAウェブサイトにアクセスし、最終審査結果を確認してください。通常、判定は数分以内に出ます。

グループ申請に含まれる申請のうちの1件に「保留」の判定が出た場合、グループ内の他の申請手続きも遅れますか？

いいえ、グループ内のいずれかの申請に「保留」の判定が出ても、残りの申請手続きに遅れが生じることはありません。すべての申請分について許可または拒否の判定が出るまで、領収通知画面に申請料の総額は表示されません。

渡航認証の有効期間は？

通常、渡航認証は、2年間あるいは旅券失効日のうちいずれか早く到来した日まで有効です。有効期間内であれば繰り返し渡航でき、再申請の必要はありません。

ESTAの再申請が必要なのはどのような場合ですか？

以下のいずれかに該当する場合、再申請が必要です。
- 新しいパスポートを取得した場合
- 渡航者の氏名に変更があった場合
- 渡航者の性別に変更があった場合
- 渡航者の国籍に変更があった場合

詳細は、www.cbp.gov/estaでご確認ください

ESTA Electronic System for Travel Authorization
U.S. Department of Homeland Security ®

U.S. Customs and Border Protection

電子渡航認証システム
アメリカのどこに旅行する場合でも、
まずは ESTA で申請を

ファクトシート

• ESTA申請フォームの質問に対する答え（「はい」・「いいえ」の回答）に変更があった場合
• 渡航認証の有効期限が切れた場合。通常、渡航認証は、承認された日から2年間あるいは申請者の旅券失効日のうちいずれか早く到来した日まで有効です。申請が承認されると、有効期限が表示されます。渡航認証またはパスポートが失効したら、渡航者は新しい渡航認証を再申請する必要があります。申請料はその都度請求されます。

ESTAで渡航認証を受けていれば、必ず米国に入国できますか？
渡航認証は必ずしも入国を保証するものではなく、渡航者がビザなしで米国に渡航することを許可するものにすぎません。通常、米国到着時に米国税関・国境警備局（CBP）の審査官が入国の可否を判断します。

VWPでの渡航者は、渡航認証を印刷して空港に持って行く必要はありますか？
いいえ、DHSは渡航者のESTA申請状況に関する情報を航空会社に提供しています。しかし、ESTA申請番号の記録のため、渡航認証を印刷しておくことをお勧めします。

ESTAの申請番号を忘れてしまいました。情報の更新や申請状況の確認のため、もう一度システムにアクセスするにはどうすればいいですか？
申請番号を紛失した、忘れた、あるいは申請番号や申請状況が分からなくなった場合は、ESTAのウェブサイトに申請者名、生年月日、パスポート番号、パスポート発行国を入力することで申請番号を検索することができます。

グループ申請番号を失くしてしまった場合はどうすればいいですか？
当ウェブサイトからグループ申請番号の通知を依頼することができます。申請番号は、グループ作成時にご登録いただいたメールアドレスに送信されます。

ESTA申請料
渡航認証に費用はかかりますか？
はい、14ドルの料金が徴収されます。ここには以下の2つの費用が含まれます。
処理費用 – 電子渡航認証を申請するすべての申請者には、申請1件ごとに処理のための費用がかかります。処理費用は4ドルです。
認証費用 – 申請が承認されると、ビザ免除プログラムを利用して渡米することが認められ、申請者のクレジットカードにさらに10ドルの認証費用が請求されます。電子渡航認証が拒否された場合、処理費用のみが請求されます。
CBPは、クレジットカード会社が請求する取引手数料を含め、追加で発生するいかなる費用についても責任を負いません。

渡航認証の申請料はどのように支払えばいいですか？
申請料は、クレジットカード、デビットカード、あるいはPayPalで支払う必要があります。現在、ESTAのウェブサイトは以下のクレジットカードあるいはデビットカードに対応しています：マスターカード、VISA、アメリカン・エキスプレス、JCBカード、ダイナースクラブ、ディスカバー。個人またはグループの申請に対して、ご友人やご家族、旅行代理店など申請者本人以外の人が代理で申請料を支払うことも可能です。クレジットカードの名義人は必ずしも渡航者またはグループ代表者と同じ人物でなくてもかまいません。すべての決済情報が入力されるまで、申請処理は実行されません。現在、他の決済方法への対応も検討しています。

申請代行業者のウェブサイトを見かけました。代行業者を利用すれば認証の手続きがもっと早く進みますか？
いいえ、ESTAの申請代行業者を利用したからといって、早く承認が出るわけではありません。外部の業者がウェブサイトを立ち上げてESTAの情報を提供したり、VWP渡航者の申請を代行したりするサービスを行っていますが、いずれもDHSまたは米国政府が許可するものではなく、DHSまたは米国政府とは何の関係もありません。URLの末尾が「.gov」でないサイトはESTAの公式ウェブサイトではありませんので、ご注意ください。

このウェブサイトは安全ですか？また、個人情報は守られますか？
はい、当ウェブサイトは、あらゆる情報への不正アクセスを防ぐための技術を採用して、米国政府が運営しています。申請者がESTAウェブサイトから送信した情報は、連邦情報セキュリティマネジメント法をはじめとする米国の法規制に基づき、他の渡航者審査プログラムと同程度の保護水準をもって厳重に管理されます。かかる情報にアクセスできるのは、業務遂行上その情報を知る必要のある者に限られます。

ESTAとI-94W
VWPを利用して陸の国境から陸路で米国に入国する場合も渡航認証は必要ですか？
陸の国境から陸路で米国に入国する場合、ESTAでの渡航認証は不要です。陸路で入国する場合は、通関手続きとしてI-94Wカードに記入し、6ドルの手数料を支払う必要があります。ただし、現在CBPは規制の見直しを検討しており、将来的に陸の国境でもESTAによる渡航認証が必要になる可能性があります。

ESTAでの渡航拒否
渡航認証が下りなかった場合はどうすればいいですか？
もし渡航認証が拒否されても渡航者が渡米を希望している場合は、米国大使館または領事館でビザを申請する必要があります。ビザ申請手続きについての詳細は、*www.travel.state.gov*でご確認ください。

グループ内でいずれかの渡航認証が拒否された場合、どうなりますか？
グループ内で拒否された申請があっても、残りの申請に影響は及びません。

すでに有効な米国ビザを持っています。それでもESTAで渡航認証を申請する必要はありますか？
いいえ、有効な米国ビザをお持ちであれば、そのビザの発給要件に沿った目的で渡航する場合、ESTAで渡航認証を申請しなくても渡米することができます。

渡航認証が下りなかった場合、再申請することはできますか？
前回の申請時から状況が変わっていれば、再申請が可能です。

まとめ
対象者：VWP対象国の国民
申請の対象：VWPを利用して米国に渡航するための渡航認証
申請場所：*https://esta.cbp.dhs.gov*
費用：処理費用4ドル＋認証費用10ドル
詳細：*www.cbp.gov/esta*

詳細は、www.cbp.gov/estaでご確認ください

ESTA Electronic System for Travel Authorization
U.S. Department of Homeland Security ®

CBP Publication Number 0641-0717 ESTA factsheet redesign - Japanese